

学校教育目標

『人間尊重を基盤とし、豊かな心とたくましい体を持ち、

自ら学びを創造する子どもの育成』

は つらつ元気な子（体）

- ①目を見てあいさつ「おはようございます」 ②しっかり返事「はい」 ③青空の時間は外遊び

ルールをまもる子（範）

- ①時を守る ②もくもく清掃 ③くつ揃え ④廊下・階段の歩行 ⑤情報モラル

お もいやりのある子（徳・コミュニケーション）

- ①感謝の気持ち「ありがとう」 ②素直な気持ち「ごめんなさい」
③仲よくなれる「ふわふわ言葉」

か ながえる子（知）

- ①話を目と耳と心で聞く ②自ら課題を設定し解決・探究 ③自分の考えを表現

憲法・法令等

市の施策・方針

児童の実態

保護者・地域の願い

『主体的・対話的で深い学び』の推進 ～学校は勉強するところ～

- タブレット端末活用（基礎基本の定着・教科横断的な学習・アクティブラーニング）
- 日頃からの授業改善（「めあて」「見通し」「振り返り」の設定された授業推進）
- さいたま STEAMS 教育(STEAMS TIME)、さいたま SDGs 教育等の取組
- 体力向上の取組（運動習慣の定着を図る試み）
- 人権教育の推進（様々な人権課題への対応）



安心・安全な学校づくりの推進 ～学校は友だちと仲良くするところ～

- 「いじめ見逃しゼロ」（いじめ対策防止委員会と中心とした組織的対応）
- 教育相談体制の充実（学習ボランティアと協働した「Sola るーむ」の運営）
- 個別に配慮を要する児童への支援（特別支援教育校内委員会の開催）
- 地域、保護者、他機関と連携を図った健康・安全指導の展開
- 食育の推進 ○安全点検と修繕



チーム「スプリング・ヒル」(教職員一人ひとりのよさを互いにリスペクト)

職場環境(Well-being)の整備・充実 ～学校は組織で対応するところ～

- 人事評価制度を活用した研修奨励とスキルアップ（「教師力」パワーアップ講座等参加呼びかけ）
- ICTを活用した働き方改革推進（時間外勤務削減による余暇時間増加とメンタルヘルス）
- 教職員事故等の防止（教育公務員としての自覚と責任）

家庭、地域、行政の支え

コミュニティ・スクールとしての取組の推進 学校は地域のたから～

- 学校運営協議会における熟議の充実並びに課題意識の共有
- OSSN（PTA、チャレンジスクール、各種ボランティア等）の一層の充実
- 地域講師による教育活動の推進

